

あかばねこども園 施設関係者評価 報告書

開催日時 令和8年2月27日 9:30~11:00
参加者 9名
高松・赤羽根・若戸小学校長
高松・赤羽根・若戸校区コミュニティ会長
おやがめ会 役員3名

- 今年度の目標の確認
- 1年間の活動報告
- 公開保育(令和7年12月16日開催)のアンケート結果の説明
- 保育見学
- 保護者アンケート結果の確認と話し合い

アンケート方法について

委員から、アンケートは保護者全員が回答しているのかという質問があった。任意にすると、思いのある方、意見を伝えたい方に偏りやすいので、なるべく全員から回答をいただけた方が良いとのアドバイスをいただいた。

事務はわかりやすいの評価(3.8点)について

園の工夫

- ◆ 書類・連絡方法の整理
- ◆ 重要連絡を明確にするためにルクミーおたより(一斉メールサービス)ではメールのタイトルで重要度・必要度がわかりやすいように工夫する
- ◆ 手続きの流れの見直し

職員間の情報共有の評価(3.83)

委員から、保護者からは直接見えない部分にもかかわらず、他の項目と比較して評価が低いのはなぜかと問われた

園の見解

- ◆ 現場と事務、職員室で情報が共有されていなかったり、朝と帰りの職員間で共有できていないと感じることがあるのではないか。
- ◆ 対策は以下の通り
- ◆ 情報共有のルールを見直し、統一する

記録方法の標準化・・・

- ◆ 全職員が同じ情報をもてる体制づくり
- ◆ 朝礼、終礼の内容を、参加していない職員に学年単位で伝えてもらうことになっているが、確実に全ての学年に伝わっているか確認するため、職員の並びを学年順に変更。

ICTについて

ルクミーのアプリが使いづらい

おたより、登降園の時間確認、保育の様子、全てが同じところに表示されてしまい、大事な情報を見落としてしまう。

園の見解

- ◆ アプリの「ドキュメンテーション」機能を利用する
- ◆ おたよりのタイトル
- ◆ 確認通知の確認ボタンを有効的に利用する

行事のあり方について

運動会、生活発表会について、メリハリが感じられないという意見があった。

委員の意見

- ◆ 運動会の練習が始まると、練習が嫌で休みがちになるという生徒もおり、小学校もだんだんと運動会のあり方を考え直している。
- ◆ 園でゆるやかにやってくれているので、小学校に入学していきなり急激に変わると、ギャップを感じる子もいる。
- ◆ 親世代が、「自分たちの子どもの時はこうだった」と、自分の時と比べてのイメージや思いがどうしてもでてしまう。

園の見解

行事のねらい、子どもに経験してほしい事が変わってきている。主体的に取り組む過程を大切にしている。（自分たちの意見や考えを尊重する、自分の思いから取り組む、試行錯誤したり自分なりの表現を楽しんだり、友達と協同したりする）

練習の様子や取り組みの過程も共有しながら、保護者の皆様と成長を分かち合える形を目指していきたい。

（アンケートより）外遊びが少ないのではないか

- ◆ 外遊びは大切だと考えている。朝1回と午後1回は天気が良ければ時間を決めて外遊びをしている。朝は、外遊びのあとに一旦部屋に入るが、そこからの活動は室内か戸外かを子どもたちと話し合って選択している。
- ◆ 室内における遊びも、試してみたいこと、友達と協力してやってみる、探求したりする活動として重要だと考えている。もっと深めていけたらなと思っている。

委員より

- ◆ 小学校に入学すると、毎日小学校まで通学することになるので、散歩は大切だと思う

園の見解

外遊びは単なる遊びではなく、体力づくりや小学校生活につながる大切な基盤づくりでもあるため、将来への備えという視点も含め、引き続き大切にしていきたい。